



謹んで新年のお祝いを申し上げます。

コロナウイルスの影響が長く続いていましたが、ようやく規制も緩和されつつあります。新たな年が、希望の年になることを祈りたいものです。

今回は、12月の定例議会の概要も含め、みなさまに活動状況をご報告致します。

1. 12月定例議会で一般質問しています！

12月の定例議会の一般質問は、次の2件について行いました。以下に一般質問の要点を示します。詳細はYouTube、後援会ホームページ、市議会だよりをご覧ください。

(1) 文化財の維持管理と歴史民俗資料館の移転について

①船入櫓石垣の安全確保に向けた取組について :11月に落石があり歩道が通行止めになっています。文化財でもある石垣の安全性の確保と、今後の対応について質問しました。

②本郷町にある遺跡・古墳群について :三太刀遺跡や他市内遺跡で出土した鏡や土器片などの遺跡展の計画と、ほんごう古墳の里駐車場にかけられているチェーンの問題について質問しました。

③歴史民俗資料館の「ゆめきやりあセンター」への移転及び機能拡大について :現在の古い歴史民俗資料館を、駅北の遊休施設に移転して、本市の成り立ちと文化が学べる施設に機能拡大し再整理するように要望をしました。



(船入櫓南側石垣)

(2) 佐木島の生活利便性維持のための取組について

①三原鷺浦郵便局への行政窓口事務の委託について :離島の郵便局で、行政窓口の事務手続きができるようにできないかを質問しました。

②サギセミナーセンターの所管変更の検討状況について :青年の家から、観光や地域振興等幅広く活用できる施設に用途変更を求めています。進捗状況を確認しました。

③自動運転車導入に向けた取組について :人口減少と高齢化が進む中、将来を見据え、離島内の公共交通機関を維持するために、自動運転バスの実証実験の要望を出しました。

2. 議会トピックス

◆ 水道事業の広域化に関する検討状況

水道事業の広域連携の形が少しずつ見えて来ました。広域連携企業団の設立により、国から大きな助成金が得られ、課題である老朽化した設備や配管更新に充てられるため、水道料金の値上げが抑えられます。また、各市町にある設備を集約することで、経費の削減が図られます。デメリットがないのか今後も慎重に審議していきます。

◆ 三原内港再生基本計画の検討状況

三原内港再生に係わるコンセプト（基本になる考え方）と基本方針が決まりました。

コンセプト：日本一 人と海と街が近い内港へ ～すべての人にやさしい港をめざして～

基本方針1. 瀬戸内海と島々を五感で感じる内港

基本方針2. 周辺の地域をつなぐ三原の顔となる内港

基本方針3. すべての人に開かれたやさしい内港

年度内に基本計画が策定され、来年度、県へ事業化要望が出されて実施計画の作成に入ります。

◆ 市民満足度調査結果

3年振りに市民満足度調査が実施されました。本市長期総合計画（後期）に、令和7年に人口9万人の維持と住み続けたい市民を85%以上にする目標を掲げましたが、**人口9万人維持は既に厳しく、住み続けたい割合も77.9%と厳しい状況**にあります。目標達成のためには、三原をどんなまちにするのか方向性を明確に示し、そこに集中した特色ある政策を実施すべきです。岡田市政に訴えていきます。

◆ 三原市ゼロカーボンシティ宣言

温室効果ガス削減に向け、令和4年3月にゼロカーボンシティ宣言をします。宣言も必要ですが、具体策が伴わなければ意味がありません。効果ある施策に市税を投入するよう目を光らせていきます。

3. 活動報告 & お知らせ



(1) 本市の農業振興について調査・研究を実施中

私が委員長を務める経済建設委員会では、「本市の農業振興について」をテーマに、農家と農業法人やJAを訪問して直接意見を聞き、現状の課題と対策について調査研究を進めています。どこも後継者の問題を抱えており、新規就農者を増やす支援策について考えていく予定です。

(2) 高校生との意見交換会での新たな発見

10/23に、高校生議会が議場で開催され、その後、議員との意見交換会が開催されました。若い世代が市政へ興味を持ち、まちづくりに参加する風土作りが必要ですが、まちづくりの情報が高校生に流れていない課題が浮かび上がりました。改善を求めています。

(3) すなみ海浜公園ビーチパーク八百屋で佐木島果実を販売開始

すなみ海浜公園の指定管理者 KOH(株)が中心となり、佐木島産の果実や野菜等を販売する無人販売店が、12月からすなみ海浜公園休憩室にオープンしました。今は試験販売ですが、上手くいけば拡大が計画されています。



(ビーチパーク八百屋)

4. あとがき

三原を元気ある街に変えようと、民間団体と一緒に活動が増えて来ています。三原を変えるには市民の参加が不可欠です。本市は**チャレンジできる街**も目指しています。コロナが落ち着けば、みなさんも街に出てみてください。そして、良いアイデアがあれば、どんどん提案ください。



田中ひろき後援会

田中裕規

◇ プロフィール

- 1959年8月9日生

- 東京農工大学工学部大学院卒

- 元帝人(株)社員

*** 皆様のご意見をお聞かせ下さい ***

< 連絡先 >

三原市港町三丁目 16 番 13 号

携帯: 090-7137-0440

Eメール: h.tanaka1@kem.biglobe.ne.jp

<https://www.tanakahiroki.info/>

< 発行責任者 > 武郷 康則

(ホームページ)

